

山間地での利用状況調査

今年度から毎月実施

京都・宇治市農業委員会

【京都】宇治市農業委

員会（吉田利一会長）で

は今年度から、山間地域

の利用状況調査を毎月実

施するとともに、地番と

現況の照合作業にも着手

した。

同市北東部の山間地域

には、現況が地図と一致

していない地域がある。

さらに2012年豪雨と

13年台風による水害で流

失したり、復旧工事で形

状が変化した農地も多

い。

このため、利用状況調

査で遊休農地が見つかっ

ても、地番の特定ができ

ず、所有者への利用意向

の確認に膨大な時間がか

かるなど、業務推進の大

きな支障となっていた。

そこで、今年度から総

会議案案件の現地調査と

は別に、原則毎月10日を

農地調査の日と定めて、

月当番制で農業委員が2

人1組となり、事務局職

員と一緒に地元に入って

現地確認調査を行うこと

もに、地番の特定作業を

並行して進めている。

「骨の折れる作業だが、

利用意向調査や農地等の

利用の最適化の推進に関

する指針の策定を行うに

当たって、正確な農地情

報は農業委員会業務の基

礎となる」と西岡正喜事

務局長は語る。

当面、地道な作業が続

くこととなる。

（岡利枝）